

福岡県公報

令和四年三月四日
第二百七十九号
増刊
①

目次

教育委員会

○教育職員免許状に関する規則の一部を改正する規則（教育庁教職員課）……………一

選挙管理委員会

○長が不在者投票管理者となるべき病院等の指定の一部改正

（市町村支援課）……………三一

○政治団体の設立届

（市町村支援課）……………三一

○政治団体の届出事項の異動届

（市町村支援課）……………三一

○資金管理団体の指定届

（市町村支援課）……………三三

教育委員会

教育職員免許状に関する規則の一部を改正する規則を制定し、ここに公布する。

令和四年三月四日

福岡県教育委員会

福岡県教育委員会規則第一号

教育職員免許状に関する規則の一部を改正する規則

教育職員免許状に関する規則（昭和五十三年福岡県教育委員会規則第五号）の一部を

次のように改正する。

様式第一号その一を次のように改める。

様式第1号その1 (第3条)

| | | | | | | | | |
|--|---|----------------------------|----------------------|--|---|--|--|--|
| 教育職員免許状授与申請書 教育職員免許状交付申請書 教育職員検定申請書 教育職員免許状追加申請書 | | | | | | | | |
| 年 月 日 | | | | | | | | |
| 福岡県教育委員会 殿 | | | | | | | | |
| 本籍地 | 都府 県道 | フリガナ 氏名 | | | | | | |
| 生年月日 | 和暦 年 月 日 (西暦 年) | 旧姓併記 希望の場合 | フリガナ 旧姓: | | | | | |
| | | 通称名併記 希望の場合 | フリガナ 通称名: | | | | | |
| 現住所 | 〒 | 電話 | | | | | | |
| 現所属 | | 電話 | | | | | | |
| 私は教育職員免許法第5条第1項第3号から第6号までの規定に該当しないこと及び申請についての虚偽又は不正のないことを宣誓します。 授与 つきましては、下記免許状の 交付 を申請します。 新教育領域の追加の定め <p style="text-align: center;">記</p> | | | | | | | | |
| 受けようとする 免許状の種類 | 幼 小 中 高 養護 栄養 特支 自立教科等 | 専修 1種 2種 特別 臨時 | 教科又は 特別支援 教育領域 | | | | | |
| ※以下教育委員会記入欄 | | | | | | | | |
| <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">受 付 日 付</td> <td style="width: 50%;">根拠規定</td> </tr> <tr> <td style="height: 50px;"></td> <td> 新旧区分 <input type="checkbox"/> 新免許状 (所要資格取得年度 年度) <input type="checkbox"/> 旧免許状 </td> </tr> </table> | | 受 付 日 付 | 根拠規定 | | 新旧区分 <input type="checkbox"/> 新免許状 (所要資格取得年度 年度) <input type="checkbox"/> 旧免許状 | | | |
| 受 付 日 付 | 根拠規定 | | | | | | | |
| | 新旧区分 <input type="checkbox"/> 新免許状 (所要資格取得年度 年度) <input type="checkbox"/> 旧免許状 | | | | | | | |

注) 1 履歴書を添付すること (公立学校の教職員は所属長の奥書証明のあるものでも可)。
 2 手数料は、福岡県教育職員免許状関係手数料条例及び福岡県領収証紙条例の定めるところにより納入すること。
 3 市町村 (中学校組合) 立学校の現職者にあつては、政令市教育委員会又は県教育庁教育事務所を経由して提出すること。
 4 学校に勤めている場合は、現所属欄に学校名を記入すること。
 5 旧姓又は通称名の併記を希望する場合は、戸籍抄本又は在留カードの写し等を添付すること。

様式第一号その二を次のように改める。

様式第1号その2(第3条)

教育職員免許状授与申請書(一括申請用)

年 月 日

福岡県教育委員会 殿

申請者 住 所
氏 名

私は、教育職員免許法第5条第1項第3号から第6号までの規定に該当しないことを宣誓し、次の免許状の授与を申請します。

1 申請する免許状の種類 ()

2 教科、特別支援教育領域又は事項 ()

3 履歴事項 フリガナ ()

氏 名 ()

旧 姓

※併記を希望する場合のみ ()

通 称 名

※併記を希望する場合のみ ()

生年月日 年 月 日生 ()

本 籍 地 (県都道府)

学 歴 () ()

(年 月 ~ 年 月) () ()

以上の内容に誤りのある場合は、当該項目下の()内に訂正して下さい。

様式第三号を次のように改める。

様式第3号（第3条）

| 実務成績証明書 (教科についての教育成績に関する証明を含む。) | | | | | | |
|-----------------------------------|--------------------------|-------------|-----|----|----------------|-----|
| 勤務校 | | | | 氏名 | (旧姓：) (通称名：) | |
| 休職期間 | 年 | 月 | 日から | 年 | 月 | 日まで |
| | 年 | 月 | 日から | 年 | 月 | 日まで |
| 勤務の内容 | 年度 | 期間 | 職名 | 教科 | 週授業時数 | 備考 |
| | | 自 | | | | |
| | | 至 | | | | |
| | | 自 | | | | |
| | | 至 | | | | |
| | | 自 | | | | |
| | | 至 | | | | |
| | | 自 | | | | |
| 合計 | 年 月 (休職期間を除算した勤務期間の実年月数) | | | | | |
| 教科に関する見 | | | | | | |
| 勤務成績 | | | | | | |
| 上記のとおり良好な成績で勤務したことを副申する。 年 月 日 | | | | | | |
| 所属長 | | | | | | 印 |
| 上記のとおり証明する。 年 月 日 | | | | | | |
| 実務証明責任者 | | | | | | 印 |

- 注1 休職期間には、育児休業期間等を含めること。
- 2 小学校の教諭等で教科を担当しない場合は、教科欄及び教科に関する所見欄は空欄とする。
- 3 特別支援学校に勤務した場合にあっては、備考欄に「担当学部」及び「担任した特別支援学校教育領域」を記入すること。また、教科欄には主に担当した教科を記入すること。（例：「国語」、「自立活動」、合わせた指導の場合は「合科」）
- 4 実務証明責任者は、大学附置の国立学校（学校教育法第2条第2項に規定する国立学校をいう。）又は公立学校にあってはその大学の学長、大学附置の学校以外の公立学校にあってはその学校を所管する教育委員会、私立学校にあっては、学校法人の理事長とすること。
- 5 提出は親展書類とすること。
- 6 氏名欄の（旧姓）、（通称名）は申請者の求めに応じて、所属長が確認できる場合に記入すること。

様式第三号の二を次のように改める。

様式第3号の2 (第3条)

実務証明書

1 勤務者氏名及び生年月日

(旧 姓 : _____)

氏名 _____ (通称名 : _____)

※ (旧姓)、(通称名)は申請者の求めに応じて、証明者が確認できる場合に記入してください。

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

2 良好な成績で勤務した期間等

※ 長期病気休暇、休職・休業期間については、在職年数として認められません。

勤務期間 : _____ 年 _____ 月から _____ 年 _____ 月

実労働時間 : _____ 時間

※ 実労働時間は、勤務期間における実労働時間の総時間数(合計)をご記入ください。

3 施設の概要

施設名 : _____

※ 認定こども園の場合は、構成するそれぞれの施設の名称について、すべて記載をお願いします。

認可等年月日 : _____ 年 _____ 月 _____ 日

※ 認可外保育施設の場合は、設立年月日をご記入ください。

所在地 : _____

電話番号 : _____

上記の者は、本施設において、上記のとおり実務経験を有する者であることを証明します。

年 _____ 月 _____ 日

施設名 _____

印

証明者 _____

※ 証明者は、施設を設置する法人の理事長、市区町村長等としてください。(園長は不可)

(注) 特例の対象として認められる勤務期間等(3年かつ4,320時間以上)について、複数の施設における勤務期間等を合算する場合は、それぞれの施設ごとに実務証明書が必要になります。

様式第四号を次のように改める。

様式第4号 (第3条)

| | | | |
|--|-----------------------------------|------|--------------|
| <h2 style="margin: 0;">人 物 証 明 書</h2> | | | |
| 現住所 | | | |
| 氏名 | (旧姓：)(通称名：) | 現職名 | |
| | | 生年月日 | 年 月 日生 |
| 観察の区分 | 観察の内容 | | |
| 性 格 | | | |
| 指 導 力 | | | |
| 研 究 心 | | | |
| 社 会 性 | | | |
| 信 頼 性 | | | |
| 所 見 教育職員としての適格性 | | | |
| <p>上記のとおり証明する。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">証 明 者</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 印 </div> | | | |

- 注 1 観察の内容は具体的に記入すること。
 2 提出は親展書類とすること。
 3 有効期限は、証明日から3か月以内である。
 4 氏名欄の(旧姓)、(通称名)は申請者の求めに応じて、証明者が確認できる場合に記入すること。

様式第五号を次のように改める。

様式第5号 (第3条)

| | | | |
|--|--|------|--------|
| <h2 style="margin: 0;">身体証明書</h2> | | | |
| 氏名 | (旧姓：) (通称名：) | 生年月日 | 年 月 日生 |
| 視力 | 右 (矯正) 右 左 左 | | |
| 聴力 | 右 左 | | |
| 疾病異常等の所見 | (有り ・ 無し) ※いずれかに○を付けてください。 ----- ※「有り」の場合はその内容を以下に記入するとともに、業務への支障の有無についても記入してください。 | | |
| <p style="text-align: center;">上記のとおり証明する。</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">年 月 日</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">医療機関 所在地 名称 医師氏名</p> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">(署名又は記名押印)</p> | | | |

- 注 1 有効期限は1年以内とする。
- 2 氏名欄の(旧姓)、(通称名)は申請者の求めに応じて、証明者が確認できる場合に記入すること。

様式第六号を次のように改める。

様式第6号（第3条）

| 実地の経験及び技術に関する証明書 | | | |
|---|--------|----|------|
| 現住所 | | 氏名 | |
| 生年月日 | 年 月 日生 | | |
| 勤務期間 | 勤務先 | 職名 | 業務内容 |
| | | | |
| 技術に関する 証明 | | | |
| <p style="text-align: center;">上記のとおり副申する。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">所属長 印</p> | | | |
| <p style="text-align: center;">上記のとおり証明する。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">実務証明責任者 印</p> | | | |

注 1 業務内容は、具体的に記入すること。

2 氏名欄の（旧姓）、（通称名）は申請者の求めに応じて、所属長が確認できる場合に記入すること。

様式第九号を次のように改める。

様式第9号（第3条）

教育職員免許状書換申請書

年 月 日

福岡県教育委員会 殿

本籍地 都道府県
(フリガナ)

氏名

生年月日 年 月 日生

現住所 〒 -

電話番号 自宅 - -
携帯 - -

下記のとおり、本籍地 ・ 氏名 を変更しましたので、教育職員免許状の書換えを申請します。

| | | | |
|-----------|------|----------------------|---------------------|
| | 本籍地 | 氏名 | 変更年月日 (婚姻日・転籍日等) |
| 変更前 | 県都道府 | | 年 月 日 |
| 変更後 | 県都道府 | | |
| 旧姓併記希望の有無 | | 有 ・ 無 (必ず○をつけてください。) | |

| 免許状の種類 | 教科又は 特別支援領域 | 番号 | 授与年月日 | 免許状記載の氏名 (旧姓等) | 免許状記載 の本籍地 |
|--------|----------------|----------|------------------|-------------------|---------------|
| (記入例) | | | | | |
| 中一種 | 国語 | 第 1234 号 | 平成 30 年 3 月 30 日 | 山田 太郎 | 福岡県 |
| | | 第 号 | 年 月 日 | | |
| | | 第 号 | 年 月 日 | | |
| | | 第 号 | 年 月 日 | | |
| | | 第 号 | 年 月 日 | | |

(留意事項)

- ・ 福岡県が授与した免許状に限り書換えができます。他都道府県で授与された免許状については、授与した都道府県教育委員会にお尋ねください。
- ・ 複数の免許状を書き換える場合は、書換え枚数分の手数料（福岡県領収証紙）が必要となります。
- ・ 番号及び授与年月日欄は、再交付と同時に申請する場合で不明な場合、空欄としてください。

様式第十号の二を次のように改める。

様式第10号の2 (第3条の2)

有効期間更新(講習修了)申請書
更新講習修了確認申請書

福岡県教育委員会 殿

年 月 日

| | | | |
|----------------|--------------|------|-------|
| フリガナ 氏名 | | 本籍地 | 都道府県 |
| 旧姓併記 希望の場合 | フリガナ 旧姓: | 生年月日 | 年 月 日 |
| 通称名併記 希望の場合 | フリガナ 通称名: | | |
| 勤務校 ・ 機関 | | 職名 | |
| 現住所 | 〒 | 電話 | |

※勤務校・機関、職名は、現職教員でない等のために記載できない場合は不要。

※旧姓又は通称名の併記を希望する場合は、戸籍抄本又は在留カードの写し等を添付すること。

私は、下記の免許状を有しており、免許状更新講習の課程を修了したため、
〔有効期間の更新 ・ 更新講習の修了確認〕を申請します。

【有する免許状】

| 免許状種類 | 免許状番号 | 授与年月日 | 授与権者 (教育委員会) | 免許状記載 の氏名 | 免許状記載 の本籍地 |
|-------|-------|-------|-----------------|--------------|---------------|
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |

【修了又は履修した免許状更新講習】

| 領域 | 開設者 | 時間 | 修了(履修)年月日 | 対象免許種 |
|--------|-----|----|-----------|-------|
| 必修領域 | | 時間 | 年 月 日 | / |
| 選択必修領域 | | 時間 | 年 月 日 | |
| 選択領域 | | 時間 | 年 月 日 | 教・養・栄 |
| | | 時間 | 年 月 日 | 教・養・栄 |
| | | 時間 | 年 月 日 | 教・養・栄 |

様式第十号の三を次のように改める。

様式第10号の3 (第3条の2)

有効期間更新(講習受講免除)申請書
免許状更新講習免除申請書

福岡県教育委員会 殿

年 月 日

| | | | |
|----------------|--------------|------|-------|
| フリガナ 氏名 | | 本籍地 | 都道府県 |
| 旧姓併記 希望の場合 | フリガナ 旧姓: | 生年月日 | 年 月 日 |
| 通称名併記 希望の場合 | フリガナ 通称名: | | |
| 勤務校 ・ 機関 | | 職名 | |
| 現住所 | 〒 | 電話 | |

※旧姓又は通称名の併記を希望する場合は、戸籍抄本又は在留カードの写し等を添付すること。

私は、下記2の免許状を有しており、下記1の事由により、免許状更新講習の
〔 受講免除による有効期間の更新 ・ 講習の受講免除 〕 を申請します。

【1 免除事由】:

【2 有する免許状】

| 免許状種類 | 免許状番号 | 授与年月日 | 授与権者 (教育委員会) | 免許状記載 の氏名 | 免許状記載 の本籍地 |
|-------|-------|-------|-----------------|--------------|---------------|
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |

.....
【証明者記入欄】 ※上記1の免除事由に該当することの証明のため御記入ください。

上記の者は、教育職員免許法施行規則第61条の4に規定する者又は
教育職員免許法施行規則の一部を改正する省令(平成20年文部科学
省令第9号)附則第10条第1項に規定する者に該当する。

年 月 日

(証明者)

様式第十号の四を次のように改める。

様式第10号の4 (第3条の2)

有効期間延長申請書
修了確認期限延期申請書

福岡県教育委員会 殿

年 月 日

| | | | |
|----------------|--------------|------|-------|
| フリガナ 氏名 | | 本籍地 | 都道府県 |
| 旧姓併記 希望の場合 | フリガナ 旧姓: | 生年月日 | 年 月 日 |
| 通称名併記 希望の場合 | フリガナ 通称名: | | |
| 勤務校 ・ 機関 | | 職名 | |
| 現住所 | 〒 | 電話 | |

※旧姓又は通称名の併記を希望する場合は、戸籍抄本又は在留カードの写し等を添付すること。

私は、下記2の免許状を有しており、下記1の事由により、
年 月 日まで〔有効期間の延長・修了確認期限の延期〕
を受けることを申請します。

【1 延長・延期事由】：
(年 月 日～ 年 月 日)

【2 有する免許状】

| 免許状種類 | 免許状番号 | 授与年月日 | 授与権者 (教育委員会) | 免許状記載 の氏名 | 免許状記載 の本籍地 |
|-------|-------|-------|-----------------|--------------|---------------|
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |

【3 延長(延期)前の有効期間(修了確認期限)】 年 月 日

【証明者記入欄】 ※上記1の延長・延期事由に該当することの証明のため御記入ください。

上記の者は、教育職員免許法施行規則第61条の5又は教育職員免許法施行規則の一部を改正する省令(平成20年文部科学省令第9号)附則第7条に規定する事由に該当することを証明する。

年 月 日

(証明者)

様式第十号の五を次のように改める。

様式第10号の5（第3条の2）

教育職員免許法及び教育公務員特例法の一部を改正する法律（平成19年法律第98号）附則第2条第3項第3号の確認申請書

福岡県教育委員会 殿

年 月 日

| | | | |
|-------------------|--------------|-------|-------|
| フリガナ 氏 名 | | 本 籍 地 | 都道府県 |
| 旧姓併記 希望の場合 | フリガナ 旧 姓： | 生年月日 | 年 月 日 |
| 通称名併記 希望の場合 | フリガナ 通称名： | | |
| 勤 務 校 ・ 機 関 | | 職 名 | |
| 現 住 所 | 〒 | 電 話 | |

※勤務校・機関、職名は、現職教員でない等のために記載できない場合は不要。

※旧姓又は通称名の併記を希望する場合は、戸籍抄本又は在留カードの写し等を添付すること。

私は、下記の免許状を有しており、免許状更新講習の課程を修了したため、教育職員免許法及び教育公務員特例法の一部を改正する法律（平成19年法律第98号）附則第2条第3項第3号に規定する確認を申請します。

【有する免許状】

| 免許状種類 | 免許状番号 | 授与年月日 | 授与権者 (教育委員会) | 免許状記載 の氏名 | 免許状記載 の本籍地 |
|-------|-------|-------|-----------------|--------------|---------------|
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |
| | | | 都道府県 | | 都道府県 |

【修了又は履修した免許状更新講習】

| 領 域 | 開設者 | 時間 | 修了（履修）年月日 | 対象免許種 |
|---------|-----|----|-----------|-------|
| 必修領域 | | 時間 | 年 月 日 | / |
| 選択必修領域 | | 時間 | 年 月 日 | |
| 選 択 領 域 | | 時間 | 年 月 日 | 教・養・栄 |
| | | 時間 | 年 月 日 | 教・養・栄 |
| | | 時間 | 年 月 日 | 教・養・栄 |

様式第十八号を次のように改める。

様式第十八号(第十八条)

(教育職員) 特別免許状

右の者に教育職員免許法第五条の定めるところにより(左記の教科について)(教育職員) 特別免許状を授与する。

(記)

年 月 日

本籍地
氏名
(旧姓)
(通称名)
年 月 日生

福岡県教育委員会

印

(番号)
根拠規定
教育機関名
卒業又は修了の年月日
有効期間の満了の日
備考

備考一 (教育職員) の箇所は、小学校教諭、中学校教諭又は高等学校教諭のように記入すること。
二 その他については、施行規則第七十二条第一項の規定を準用する。

様式第十九号その一を次のように改める。

様式第十九号その一（第十九条）

（教育職員）免許状

右の者に（教育職員免許法第 条）（教育職員免許法施行法第二条）の定めるところにより（左記の教科について）（教育職員）免許状を授与する。

（記）

年 月 日

本籍地
氏名
（旧姓）
（通称名）
年 月 日生

福岡県教育委員会 印

（番号）
根拠規定
基礎資格
教育機関名
卒業又は修了の年月日
備考
この免許状は、教育職員免許法第九条第三項の規定により授与した日から三年間福岡県において効力を有する。

備考一 （教育職員）の箇所は、小学校助教諭、中学校助教諭又は高等学校助教諭のように記入すること。
二 その他については、施行規則第七十二条第一項又は施行法施行規則第九条第一項の規定を準用する。

様式第十九号その二を次のように改める。

様式第十九号その二（第十九条）

（教育職員）免許状

右の者に教育職員免許法施行法第一条の定めるところにより（左記の教科について）（教育職員）免許状を有するものとみなす。

（記）

年 月 日

本籍地
氏名
（旧姓）
（通称名）
年 月 日生

福岡県教育委員会
印

（番号）
根拠規定
基礎資格
教育機関名
卒業又は修了の年月日
この免許状は、教育職員免許法第九条第三項の規定により授与した日から三年間福岡県において効力を有する。
備考

備考一 （教育職員）の箇所は、小学校助教諭、中学校助教諭又は高等学校助教諭のように記入すること。
二 その他については、施行規則第七十二条第一項又は施行法施行規則第九条第一項の規定を準用する。

附則

- 1 (施行期日)
この規則は、令和四年四月一日から施行する。
(経過措置)
- 2 この規則の施行の際現にある改正前の様式による用紙は、改正後の規定にかかわらず、当分の間、なお所要の修正をして使用することができる。

選挙管理委員会

福岡県選挙管理委員会告示第十三号

長が不在者投票管理者となるべき病院等の指定(昭和四十五年八月福岡県選挙管理委員会告示第二十三号)の一部を次のように改正する。

令和四年三月四日

福岡県選挙管理委員会委員長 藤井克己

二 老人ホームの表中

| | | |
|-----------------|------------|-----------|
| ファミリーホーム・アバン2号館 | 〃 | 行事一四一 |
| 特別養護老人ホーム亀保の里 | 豊前市大字鬼木六三一 | |
| ファミリーホーム・アバン2号館 | 〃 | 行事一四一 |
| シルバーマイト館西宮市 | 〃 | 西宮市五一三〇一三 |
| 特別養護老人ホーム亀保の里 | 豊前市大字鬼木六三一 | |

を

に改める。

福岡県選挙管理委員会告示第十四号

政治資金規正法(昭和二十三年法律第九十四号)第六条第一項の規定による政治団体の届出があったので、同法第七条の二第一項の規定に基づき、その名称等を次のとおり公表する。

令和四年三月四日

福岡県選挙管理委員会委員長 藤井克己

(一) その他の政治団体(政党及び政治資金団体以外の政治団体)

(イ) 国会議員関係政治団体以外の政治団体

| 政治団体の名称 | 代表者の氏名 | 会計責任者の氏名 | 主たる事務所の所在地 | 届出年月日 |
|-----------|--------|----------|------------------|---------|
| 石松雄太後援会 | 石松 雄太 | 中山ちなみ | 福岡県京都郡みやこ町節丸九三六一 | 三、一二、二七 |
| 川野えつこ応援団 | 川野 悦子 | 川野 悦子 | 福岡県小郡市希みが丘六一一 | 三、一二、六 |
| くるめ市民党 | 木原 丈博 | 平木 佑児 | 福岡県久留米市三潆町生岩四〇一 | 三、一二、二八 |
| 黒岩智行後援会 | 黒岩 智行 | 大坪 孝 | 福岡県久留米市城南町二〇一一 | 三、一二、二七 |
| 白水えいじ後援会 | 白水 英至 | 白水 克代 | 福岡県糟屋郡宇美町ゆりが丘一一一 | 三、一二、一三 |
| そうゆたか後援会 | 宗 晶子 | 宗 裕 | 福岡県築上郡築上町大字湊一三七三 | 三、一二、二二 |
| 中尾正俊後援会 | 中尾 正俊 | 中尾真理子 | 福岡県糸島市波多江駅北四一二 | 三、一二、二二 |
| 森野和彦後援会 | 森野鉄之助 | 丸山 巖 | 福岡県田川郡福智町金田二六五 | 三、一二、一五 |
| 安川しげのぶ後援会 | 安川 茂伸 | 藤木 幸雄 | 福岡県糟屋郡宇美町原田五一一一 | 三、一二、一六 |

福岡県選挙管理委員会告示第十五号

政治資金規正法(昭和二十三年法律第九十四号)第七条第一項の規定による政治団体の届出事項の異動の届出があったので、同法第七条の二第一項の規定に基づき、次のとおり公表する。

令和四年三月四日

福岡県選挙管理委員会委員長 藤井克己

(一) 政党の支部

| 政治団体の名称 | 代表者の氏名 | 異動事項 | 新 | 旧 | 異動年月日 |
|---------------------------------|--------|------------|---------------------------------|-------------------------|---------|
| 公明党参議院福岡選挙区第1総支部 | 藤井 弘美 | 会計責任者の氏名 | 深田 知行 | 新沼 裕司 | 三、一二、一 |
| 日本維新の会衆議院福岡県第1選挙区支部 | 山本 剛正 | 主たる事務所の所在地 | 福岡県福岡市博多区大井二丁目一三三二二二九 | 福岡県福岡市東区土井一丁目二二九 | 三、一二、一 |
| 立憲民主党福岡県総支部連合会 | 城井 崇 | 代表者の氏名 | 城井 崇 | 山内 康一 | 三、一二、四 |
| (二) その他の政治団体(政党及び政治資金団体以外の政治団体) | | | | | |
| 政治団体の名称 | 代表者の氏名 | 異動事項 | 新 | 旧 | 異動年月日 |
| こども・保育政治連盟北九州支部 | 新川 友明 | 主たる事務所の所在地 | 福岡県北九州市八幡西区岩崎二丁目一 | 福岡県北九州市八幡西区千代ヶ崎二丁目二四 | 三、三、二六 |
| しおかわ秀敏後援会 | 塩川 秀敏 | 政治団体の名称 | しおかわ秀敏後援会 | 秀友会 | 三、一二、一 |
| 税理士による鬼木誠後援会 | 織田 洋輔 | 代表者の氏名 | 塩川 秀敏 | 塩川 宣子 | 三、一一、二二 |
| 高瀬弘美を励ます会 | 藤井 弘美 | 代表者の氏名 | 織田 洋輔 | 吉田扶久子 | 三、一二、一〇 |
| たかにし正人後援会 | 高西 正人 | 会計責任者の氏名 | 深田 知行 | 新沼 裕司 | 三、一二、一 |
| 坪田晋後援会 | 坪田 晋 | 主たる事務所の所在地 | 福岡県福岡市博多区博多駅前三丁目一〇一五六スコール博多五〇一F | 福岡県福岡市博多区吉塚二丁目一三五フール井上一 | 三、一一、一 |

フォーラム立憲民主 藤田 一枝 主たる事務所の所在地 福岡県福岡市中央区天神五丁目一六七自 博多区千代四一治労会館内 河野ビル2F 江崎孝事務所 気付

福岡県民主教育政治連盟 本村 隆幸 代表者の氏名 藤井 隆晴 本村 隆幸 三、一二、一

安川しげのり後援会 安川 繁典 主たる事務所の所在地 福岡県糟屋郡宇美町明神坂二丁目二〇〇一三

山本剛正後援会 山本 剛正 主たる事務所の所在地 福岡県福岡市博多区大井二丁目一三三二二二九

福岡県選挙管理委員会告示第十六号
政治資金規正法(昭和二十三年法律第九十四号)第十七条第一項の規定による政治団体の解散の届出があったので、同条第三項の規定に基づき、次のとおり公表する。
令和四年三月四日

福岡県選挙管理委員会委員長 藤井 克己

(一) その他の政治団体(政党及び政治資金団体以外の政治団体)

| 政治団体の名称 | 代表者の氏名 | 解散年月日 |
|-----------------------|--------|---------|
| 柏屋未来図研究所 | 中野 敏郎 | 三、一二、一七 |
| 女性知事を誕生させるみんなの会 | 嶽村久美子 | 三、一二、一〇 |
| すべては京築と田川、そして、あなたのために | 大楠 一隆 | 三、一二、七 |

福岡県選挙管理委員会告示第十七号
政治資金規正法(昭和二十三年法律第九十四号)第十九条第二項の規定による資金管理団体の届出があったので、同法第十九条の二第一項の規定に基づき、その名称等を次のとおり公表する。
令和四年三月四日

福岡県選挙管理委員会委員長 藤井 克己

| 資金管理団体の届出をした者(代表者)の氏名 | 公職の種類 | 資金管理団体の名称 | 主たる事務所の所在地 | 指定年月日 |
|-----------------------|---------|-----------|----------------------|---------|
| 川野 悦子 | 小郡市議会議員 | 川野えつこ応援団 | 福岡県小郡市希みが丘六―一―二 | 三、一二、六 |
| 黒岩 智行 | 久留米市長 | 黒岩智行後援会 | 福岡県久留米市城南町二〇―一―一 | 三、一二、二七 |
| 塩川 秀敏 | 宮若市長 | しおかわ秀敏後援会 | 福岡県宮若市本城一三五五―二 | 三、一二、一 |
| 中尾 正俊 | 糸島市議会議員 | 中尾正俊後援会 | 福岡県糸島市波多江駅北四―二―一三〇―一 | 三、一二、二 |
| 安川 茂伸 | 宇美町長 | 安川しげのぶ後援会 | 福岡県糟屋郡宇美町原田五―一―三二 | 三、一二、一一 |

福岡県選挙管理委員会告示第十八号

政治資金規正法(昭和二十三年法律第九十四号)第十九条第三項第三号の規定による資金管理団体の届出事項の異動の届出があったので、同法第十九条の二第一項の規定に基づき、次のとおり公表する。

令和四年三月四日

福岡県選挙管理委員会委員長 藤井 克己

| 資金管理団体の届出をした者の氏名 | 資金管理団体の名称 | 異動事項 | 新 | 旧 | 異動年月日 |
|------------------|-----------|------------|---------------------|--------------------|--------|
| 坪田 晋 | 坪田晋後援会 | 主たる事務所の所在地 | 福岡県福岡市博多区博多駅前三―一〇―一 | 福岡県福岡市博多区吉塚二―一三―五フ | 三、一一、一 |
| 安川 繁典 | 安川しげのぶ後援会 | 主たる事務所の所在地 | 福岡県糟屋郡宇美町光正寺二―一〇―一三 | 福岡県糟屋郡宇美町明神坂二―八―二〇 | 三、〇三、一 |

| 安川 繁典 | 安川しげのぶ後援会 | 主たる事務所の所在地 | 福岡県糟屋郡宇美町光正寺二―一〇―一三 | 福岡県糟屋郡宇美町明神坂二―八―二〇 | 三、〇三、一 |
|-------|-----------|------------|---------------------|--------------------|--------|
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 安川 繁典 | 安川しげのぶ後援会 | 主たる事務所の所在地 | 福岡県糟屋郡宇美町明神坂二―八―二〇 | 福岡県糟屋郡宇美町光正寺二―一〇―一三 | 三、一二、二八 |
|-------|-----------|------------|--------------------|---------------------|---------|
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |